

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church

受難の主日 Passion Sunday

「本当に、この人は神の子だった。」(マタイ 27・54)

“Truly, this was the Son of God!”(Mt 27:54)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15

1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo

Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449

<http://kasaicc.net/>

主日のミサ

土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)

日曜日 Sun. 10:00am (日本語) & 4:00pm (English)



今日の行事予定： 枝の主日 50周年会議 東京レジア

イースターエッグ

お1人5ヶお願い致します。暖かくなりますので、必ず当日の朝、堅ゆでにして、10分以上しっかり冷やしてからラッピングしてお持ちください。玄関に籠を用意してあります。

ヨハネ松尾太助祭の司祭叙階式のご案内

日時：2017年4月22日(土) 11:00am
場所：カトリック城山教会聖堂(長崎市)
司式：高見三明大司教

治兵衛会巡礼のお知らせ

治兵衛会のお年寄りが優先となりますが、5月8日(月)に恒例の巡礼を行います。今年、聖心会裾野修道院、神山復生病院とその記念館に巡礼いたします。(トマス金鏑次兵衛会)

聖書勉強会

聖書勉強会を原則毎月第4日曜日のミサ後11:30より小聖堂で行います。4月は30日(日)です。たくさんの方の参加をお待ちしています。

(宣教部:シスター植木)

50周年ロザリオの祈りの報告(2017年分)

3月は14名 132環で、累計35名 390環です。2017年も3,000環が目標です。よろしくお祈り致します。

(50周年委員会)



Kasai Church 50th Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals **13,530,372 yen**. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

Tagalog Na Misa

Tuwing unang Mierkules ng bawat buwan ay magkakaroon ng Tagalog na Misa (alas 10:30 sa maga). **April 5** ang Mierkules sa mga darating na buwan. May kumpisal at novena din sa mga ganoong araw.

献堂 50周年記念事業第6期(1月~7月)献金報告

2017年第6期報告(2月末現在)

申込者数: 43名(目標: 200名)

献金合計: **617,405円**(目標: 3,000,000円) 1期からの合計は **13,530,372円**です。今後とも皆様のご協力を宜しくお祈り致します。ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一にお聞きください。

ウルスラ修道会でのミサ

これからの予定は、4月27日(木)、5月18日(木)、6月15日(木)です。おいしいランチと祈りのひと時をご一緒に。皆様ご参加下さい。

共同祈願の祈り

主の十字架は私の希望、
私の救い。

その他今後の予定

04月09日(日) 受難の主日(枝の主日) PALM SUNDAY

04月16日(日) 復活の主日 EASTER

04月23日(日) 復活節第2主日

今週の掃除は4月15日(土)

松江・船堀地区です。皆さまご参加ください。

This Week's Church Cleaning Duty April 15th Saturday

Matsue・Funabori Group

掃除当番の方々へ：トマスホールの椅子は、体の不自由な方が通れるように聖堂との境からタイル2枚分(約60cm)あけて並べて下さい。

献堂50周年記念事業準備

葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。

『受難の主日(枝の主日)』A年

今日の福音 マタイによる福音(21:1-11)

〔イエスの〕一行がエルサレムに近づいて、オリーブ山沿いのベツファゲに来たとき、イエスは二人の弟子を使いに出そうとして、言われた。「向こうの村へ行きなさい。するとすぐ、ろばが見つかり、一緒に子ろばのいるのが見つかる。それをほどこいて、わたしのところに引いて来なさい。もし、だれかが何か言ったら、『主がお入り用なのです』と言いなさい。すぐ渡してくれる。」それは、預言者を通して言われていたことが実現するためであった。

「シオンの娘に告げよ。

『見よ、お前の王がお前のところにおいでになる、
柔和な方で、ろばに乗り、荷を負うろばの子、子ろばに乗って。』

弟子たちは行って、イエスが命じられたとおりにし、ろばと子ろばを引いて来て、その上に服をかけると、イエスはそれにお乗りになった。大勢の群衆が自分の服を道に敷き、また、ほかの人々は木の枝を切って道に敷いた。そして群衆は、イエスの前を行く者も後に従う者も叫んだ。

「ダビデの子にホサナ。

主の名によって来られる方に、祝福があるように。

いと高きところにホサナ。」

イエスがエルサレムに入られると、都中の者が、「いったい、これはどういう人だ」と言って騒いだ。そこで群衆は、「この方は、ガリラヤのナザレから出た預言者イエスだ」と言った。

聖書新共同訳より引用

A Reading from the Holy Gospel according to Matthew (21 : 1-11)

Your humble king comes to you

When they were near Jerusalem and had come in sight of Bethphage on the Mount of Olives, Jesus sent two disciples, saying to them, "Go to the village facing you, and you will immediately

find a tethered donkey and a colt with her. Untie them and bring them to me.

If anyone says anything to you, you are to say, 'The Master needs them and will send them back directly.'" This took place to fulfil the prophecy:

Say to the daughter of Zion: Look, your king comes to you: he is humble, he rides on a donkey and on a colt, the foal of a beast of burden.

So the disciples went out and did as Jesus had told them. They brought the donkey and the colt, then they laid their cloaks on the road, while others were cutting branches from the trees and spreading them in his path. The crowds who went in front of him and those who followed were all shouting:

"Hosana to the Son of David! Blessings on him who comes in the name of the Lord! Hosana in the highest heavens!"

And when he entered Jerusalem, the whole city was in turmoil. "Who is this?" people asked, and the crowds answered, "This is the prophet Jesus from Nazareth in Galilee."

This is the Gospel of the Lord

【 福音朗読 】

主の名によって来られる方に、祝福があるように

[マタイ福音書ではすでに三度受難が予告され、イエスにとってエルサレムは受難の地であることが、はっきりと示されていた(マタイ 16:21、20:18 参照)]

- | | |
|----------|---|
| 一緒に子ろばの | 5 節で引用されるゼカリヤ 9:9 のギリシア語訳について「子ろば」というが、もとは「雌ろばの子であるろば」となっている。ゼカリヤ書によれば、ろばは、貧しさ(へりくだり、柔和)と平和のシンボルである(ゼカリヤ 9: 9-10 参照)。 |
| シオンの娘に…… | ゼカリヤ 9:9 のギリシア語訳の引用。「シオンの娘」はエルサレムの町とその住民を指す。 |
| ホサナ | 本来は「ああ救いたまえ」という意味だが、歓呼の叫びにもなった。仮庵祭の行列のとき、枝を携えた人々によって詩編 118:25 のホサナが唱えられた。「主の名によって来られる方に、祝福があるように」も同じ詩編の 26 節のことばである。 |

<拝領唱> (マタイ 26:39)

「父よ、できるならば、この杯をわたしから取り去ってください。

しかし、わたしの思い通りにではなく、あなたのおぼしめしのままに。」

COMMUNION ANTIPHON (Mt 26 : 42)

Father, if this cup may not pass, but I must drink it, then your will be done.